



放射線の測定／
保育料のあり方

新井克尚（まちだ新世紀）
問 定点以外の場所を測定するために、市所有の放射線測定器を町内会等の団体に貸与し、市民協働で市内の放射線を測定するようにしては。
鷲北副市長 ご提案の団体等にお貸しするということは市民協働の視点も考えた中で検討したいと思います。
問 市民が独自に測定したデータも集約し、ウェブサイトに掲載発信できないか。
地域保健担当部長 違う条件や機械等で測定したデータを並べると、解釈が難しくなると思いますので、可能かどうか研究をしたいと思っています。
問 保育料のあり方についてのアンケート結果はどうか。
子ども生活部長 回答者の七割が認可保育所は何らかの値上げが望ましいと考えています。同じサービスなら同じ負担をすべきとする回答が最も多い状況です。



災害廃棄物について市の見解は

わたべ真実（民主・市民・ネット）
問 一月から女川町の可燃性廃棄物の受け入れを予定して八月に住民説明会が開かれた。その結果と、受け入れるための安全策を改めて問い、市長の見解を問う。
環境資源部長 一回目はご意見メモの中では、賛成一九件、反対二二件。二回目は賛成六件、反対三六件という状況です。
市長 国の基準に従いまして、東京都の定める全体のプロセスに従って、安全には特段の配慮を行い女川町からの災害廃棄物の受け入れをしていきたいと考えています。
問 豊かな緑は町田市の財産。緑の基本計画にある緑・生物の保全と誰もが利用しやすい公園の整備は両立するか。
都市づくり部長 今後整備を進める所では、その特質等を踏まえ地域に合った整備を進めるべきと考えています。



大規模学童クラブの早期解消を

佐々木智子（日本共産党）
問 大規模学童保育クラブは分離・分割して、二つの施設に分けるべきかどうか。
子ども生活部長 児童数の増加により狭隘化が進んだ学童保育クラブについては増築が必要なものもあります。
問 学校図書館の環境整備と機能充実のため、全校にエアカン設置や蔵書管理システムの導入を求めるがどうか。
学校教育部長 空調整備は中断をしていましたが再開の準備をしているところです。学校図書データのベース化は小学校一五校、中学校一校で整備されています。今後も引き続き進めていきます。
問 要介護一・五の高齢者全員に障害者控除認定の申請書を送付すべきかどうか。
いきいき健康部長 すべての方が必要ではないので、その他の方法で制度周知に努めていきたい。



新五カ年計画について問う

渋谷武己（まちだ新世紀）
問 新五カ年計画の財政見通しでは、五年間で七四億円の歳入不足が見込まれているがどのようにして計画を執行していくのか。
市長 経常経費の削減、繰出金のカット、市税徴収率の向上ということで収支不足の解消を図り、事業の実現の裏付けとなる財源を確保していきたいと考えています。
問 二次医療病院としての市民病院の地域医療連携についてどのように考えるか、また放射線治療に対する取り組みについての考えは。
市民病院事業管理者 逆紹介率の向上は、紹介元医療機関への礼状、経過報告等行い連携に努めています。放射線治療施設導入には施設整備や運用にかかる費用等多くの課題があると考えており、引き続き課題の解決に向け研究していきます。



生ごみメタン化施設の再検討を

齋藤祐善（民主・市民・ネット）
問 家庭生ごみのメタン化施設計画は課題が多く、一二月までに性急に策定すべきではないと思うがどうか。
施設建設担当部長 廃棄物施設の整備にかかる交付金は三分の一という補助率ですが、高効率発電に伴う交付金は二分の一です。この額は今年度中に申請をしないと以降は三分の一となるので時期は今年度と選択しました。
問 メタン施設に対する、昨年の総務省の否定的な事業評価や横須賀市、鎌倉市の整備計画撤回の結果を受けて計画変更は考えないのか。
施設建設担当部長 稼働や採算性が低調ということで調査、研究しています。産業廃棄物は景気に左右され稼働率が落ちるという実態があり市としては家庭系生ごみと今入っている事業系ごみの受け入れということと考えています。



こどもの人権を守る教育を

細野龍子（日本共産党）
問 運行地域住民の声を聞いて、コミュニティバスに替わる公共交通の運行を求める。
都市づくり部長 先進事例などを参考に、金森地区コミュニティバス運行協議会と一緒に研究をしていきたい。
問 シルバーピアの団楽室を地域の高齢者も使えるよう工夫してはどうか。
いきいき健康部長 今後、介護予防サポーターさんなどにお願ひし、介護予防関係の講座といったものを地域の方と一緒に進め、その中で団らん室の有効活用を図りたい。
問 いじめ克服のため教員が力を合わせて取り組む環境づくりを支援すべきだが、どうか。
教育長 いじめ対応サポートチームを設置し二学期から活動を開始しています。対応をより早く適切に行えるよう学校支援を強化していきます。



忠生市民センターの安全確保を

若林章喜（諸派）
問 忠生市民センター建替えに伴い、積極的に安全確保に取り組むべきかどうか。
市民部長 近隣の小中学生や住民の皆様の安全確保のため工事中は交通整理員の配置等安全に配慮していきたい。
鷲北副市長 でき上がった後、状況を確認させていただき、歩道が必要となった場合は、今ほとんどが学校用地なので、あとの部分についても一連の歩道としてできるように努力はしたい。
問 小野路球場に電光掲示板の設置を求める。
加藤副市長 設置へ向け検討を進めていきたい。
問 オリンピック・パラリピック招致に向け、市町村全域での取り組みをするべきかどうか。
市長 国民支持率調査の向上に向けて、さまざまなPR活動を展開していきたい。



忠生市民センター



オスプレイ配備に反対を

殿村健一（日本共産党）
問 普天間基地への欠陥機オスプレイ配備と危険な飛行訓練に反対し、米軍基地撤去を要求すべきだが、どうか。
市長 国の防衛戦略でコメントする立場ではありません。
問 高ヶ坂・成瀬地域（国際版画館経由）にコミュニティバス走行を実現すべきだが、都市づくり部長 現行の計画では事業採算が成立しないことを確認し、さらに検討が必要と認識しています。
問 新庁舎建設に伴う借入金返済やランニングコスト、交通安全対策について問う。
政策経営部長 起債額の合計は八〇億七千万円。償還期間二〇年で年平均の償還額が四億四千万円。分散していた庁舎の賃貸料より安いです。ランニングコストは同程度か若干軽減の見込みです。
建設部長 開庁に伴い交通量調査は行います。



誰もが安心して暮らせる街創り

森本せいや（民主・市民・ネット）
問 震災時の要援護者（高齢者、障がい者、妊婦、乳幼児、難病・人工透析患者等）支援について、妊婦・乳幼児の想定が抜け落ちているが。
鷲北副市長 地域防災計画、要援護者支援マニュアルに相違があるわけです。東京都の支援マニュアルに沿ってやるか、地域防災計画でやるか、これから決めていきたい。
問 他にも抜けている想定が多い。関係部署を纏め、支援体制の強化を促進するべき。
鷲北副市長 かなり不鮮明な部分もあるということで、スピードアップして、もう少し細かく決めていきたい。
問 支所窓口で身体障がい者手帳申請を可能にするべき。
市民部長 専門性が非常に高く、障がい福祉課でないといけない業務も内包されています。本庁とつなぐことは、行っていききたいと思っています。



町田市地域防災計画の修正作業

佐藤伸一郎（自由 / 民主）
問 町田市地域防災計画の修正作業を問う。
市長 具体的な中身としては、情報連絡体制、備蓄資材、備蓄物資の充実、災害時の医療対策等の部分について修正をしています。
鷲北副市長 全庁的な検討を進めています。
問 多摩境通りの町田方面の交通渋滞解消の方策を問う。
建設部長 尾根幹線との交差点部分で、レーンをややす改良工事をしていきたい。現在の予定ですが、来年度から測量、設計に入り、その後、改良工事に着手していきたい。
問 尾根緑道（種入バス停から小山町馬場）の整備計画を問う。
建設部長 種入バス停から小山町馬場の区間において安全性の向上、緑の導入、触れ合いの場などを設けることを前提に改良を予定しています。



仮称「平和ふれあい記念館」を

川畑一隆（公明党）
問 戦没者慰霊塔を中心とし、戦争関連資料や平和事業の資料集を網羅した仮称「平和ふれあい記念館」を求める。
鷲北副市長 建設計画は現在持っていますが、まず町田市戦没者合同慰霊塔の歴史や意義を市民に周知するよう努め施設を設けることについては検討させていただきたい。
問 とくに町内会や子供会などの資源ごみの持ち去り防止の対応を早急に実施せよ。
環境資源部長 地域に合ったルールづくりを検討させていただき、また資源とごみの収集力レンダーに、もう少し明確に持ち去りについて内容を入れさせていただきたい。
問 シティプロモーションの「町田ナンバー」を。
財務部長 町田市の名前が広く認知され宣伝効果も予想されるため検討していきたい。

傍聴を希望される方は市役所三階の

義父と傍聴

会議のインターネット放映を行っています。